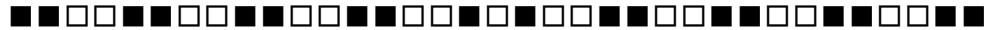


◆【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】

◆ SCステーションPR-20号 平成23年6月6日発行



このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。

配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：3,561 件

SCステーションは、クラブづくりの疑問や悩み解決のヒントとなるQ&A集で、現在245個あり、キーワード検索もできます。

本年度は、「SCステーション 私の活用法」として、クラブマネジャーや役員などクラブ関係者から、SCステーションを実際に使う場面や目的に応じて、役立つQ&Aを推薦していただきます。

今月は、以下6個のQ&Aをご紹介します。

Q & A 回答ページの文字が小さく感じる場合は、
右上の「ページ」→「拡大」をクリックしていただくと、
読みやすい大きさに画面を変更できます。

また、東日本大震災の応援情報もお届けします。
この機会に、ぜひ、ご覧ください！

*****☆目次☆*****

★活動場所の確保に関して参考になる★

- 4-05 既存のスポーツ施設では、利用者との調整がむずかしそうです。
- 4-10 既存教室での利用施設を拠点にクラブ化できますか？
- 4-11 企業の施設等を活用しているクラブはありますか？
- 4-12 都市部で直接交渉によって学校施設を確保できた事例は？
- 4-13 公共施設の休館日を利用しているクラブはありますか？

★校庭の芝生化とその管理★

●4-22 校庭の芝生化にかかわり管理も行うクラブの事例は？

◆◇東日本大震災 応援情報◇◆

- 宮城県体育協会 HP 子ども達に必要な用品支援
- 被災地への「応援メッセージ」と「してほしいこと・できること」
- 被災地へボランティアなどで行く時の「ころがまえ」

◆◇お知らせ◇◆

●日本スポーツ社会学会

第20回記念大会公開記念セッション（1）公開シンポジウム開催のご案内

-
-

★活動場所の確保に関して参考になる★

▼4-05 既存のスポーツ施設では、利用者との調整がむずかしそうです。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/128.html>

「学校開放施設」や「公共スポーツ施設」を利用する場合、既存の利用者や団体がおり、新たな団体が利用するためには利用調整が必要です。

公共施設利用の新しい枠組みを検討する必要がありますが、ただ手をこまねいて待っているだけでなく、本音を語りあい、施設を相互に有効活用できる具体的な解決策を積極的に見つけていくなど、できることから始めることも必要です。

▼4-10 既存教室での利用施設を拠点にクラブ化できますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/222.html>

総合型クラブは様々な形で設立されていますが、既存教室がクラブ化している事例も多くあります。

利用施設の管理者、他の利用団体等との連絡・調整を上手に行う

ことにより、施設を有効活用しながらクラブ化した事例を紹介します。

▼4-11 企業の施設等を活用しているクラブはありますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/224.html>

使用日やイベント計画、施設の整備や器具設置をクラブの意志で決められることは、クラブが発展していくためにとても重要な要素となります。

地元の企業と連携し活動拠点を確保しているクラブがあります。

▼4-12 都市部で直接交渉によって学校施設を確保できた事例は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/225.html>

「活動場所の確保」では、どこでも苦労していると思います。

しかし、交渉次第で学校施設の確保は可能です。

「廃校予定の学校利用」「校長先生に直接交渉」「教育委員会と連携」

「学校にメリットをもたらせることから突破口を開く」など

いくつかの事例があります。

▼4-13 公共施設の休館日を利用しているクラブはありますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/228.html>

人口に対してスポーツ施設数が少ない地域では、新たにクラブを設立した場合、使える施設がない恐れがあります。

休館日の利用は、施設設置者である自治体と連携することで、制度的にも可能であり有効な方法だといえます。

具体的な事例を紹介しましょう。

★校庭の芝生化とその管理★

▼4-22 校庭の芝生化にかかわり管理も行うクラブの事例は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/281.html>

校庭の芝生化にかかわるクラブは増えてきましたが、
管理までクラブで行い、「グリーンサポーター」を通じて、
クラブの知名度を地域で高めているクラブの事例をご紹介します。

◆◇東日本大震災 応援情報◇◆

●宮城県体育協会 HP 子ども達に必要な用品支援

宮城県スポーツ少年団では、多くの子どもがこの度の震災で失った
スポーツ用品の支援をお願いしています。

<http://www.miyagi-taikyo.or.jp/>

●被災地への「応援メッセージ」と「してほしいこと・できること」

東日本大震災では、多くのクラブから被災地への心配や
「何かできることはないか」という声が多数寄せられました。
皆様の暖かい気持ちを1つの所に集めて、4月20日発行号で
発信したところ、「継続してほしい」との要望が寄せられ、
今後も関連情報の発信を続けてまいります。

クラブ同士が気持ちを1つにして助け合い、1日も早い
復興をめざして、力を出し合えたら素晴らしいと思います。

▼文章全体はこちらから

▼「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい。

発信者のお名前（あればクラブ名も）と、連絡先（必要な場合）を
書き添えて、以下送信ください（アドレスは発信専用です）。

sc-info@japan-sports.or.jp

<ご注意>日本体育協会では、情報の収集・仲介役となりますが、

発信内容については発信者の責任のもと、クラブ・当事者間で、
直接のやりとりをお願いします。

送信いただいた内容については基本的にそのまま掲載いたします
ので、連絡先等、間違いのないようご注意ください。
また、常識に照らし合わせて不適切な内容は、掲載可否について、
こちらで判断させていただくことがありますので、ご了承ください。

●被災地へボランティアなどで行く時の「ころがまえ」

今後ますます被災地に赴く機会が増え、また息の長い支援を
続けるためにも、現地に行く前に知っておくことや
「ころがまえ」が「お作法」集となっています。ご参考までに。

▼防災ボランティアの「お作法」集（内閣府）

<http://www.bousai.go.jp/minna/bousai-volunteer/kihan/index.html>

◆◇お知らせ◇◆

●日本スポーツ社会学会

第20回記念大会公開記念セッション（1） 公開シンポジウム開催のご案内

日本スポーツ社会学会にて、3月に予定されていましたが震災のために延期に
なった公開シンポジウムが、第20回大会を記念して下記の通り開催されます。
震災を乗り越えて、子どものスポーツにおける「公共」のあり方を考える内容
となっています。みなさま是非ご参加ください。

日 時 平成23年6月26日（日）16：30～18：00

場 所 成蹊大学10号館102号室

テーマ 「スポーツにおける『新しい公共』

ーこどものスポーツを支えるのはだれか？ー」

▼詳細はこちらから

※URL は以前のものとなっています。

●

●

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/index.html>

☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆